

認定こども園せんだい幼稚園 園長 田原 慎也
[http://www.s-kinder.com /index.html](http://www.s-kinder.com/index.html)

●4月のひとコマ



<2歳児:玉ねぎの収穫>



<年少児:初めての給食>



<年少児:感触遊び>



<年長児:稲の種蒔き>

今だからできることを

しびれるような寒さが少しずつ和らいでいくことで春が近づいてきたのを感じていた例年ですが、今年は稀にみる大暖冬を迎えたこともあり、冬らしさをまったく感じることなく、いつの間にか春が訪れ新たな年度を迎えることになりました。季節の変わり目を感じにくかったのは卒業式・入学式など、いつもであれば盛大に開催されるはずの、「季節ならではの」行事が軒並み中止や縮小などの対応を余儀なくされたことも一つの要因なのかもしれません。

4月になって、新たなせんだい幼稚園のお友達を迎え入れ、子どもたちの賑やかな声が響き渡ったのもわずか、新型コロナウイルスの感染拡大による全国を対象とした緊急事態宣言、そして薩摩川内市からの幼稚園・保育園への登園自粛要請。新年度が始まったばかりではありましたが通常通りの保育ができない状況になってしまいました。

保護者の皆様には、感染防止策として、ご家庭での保育が可能な方への登園自粛のご協力をお願いさせていただいたところ、ご理解・ご協力頂いていることに改めて感謝申し上げます。園にとっても未曾有の事態であるため、一つ一つの判断に頭を悩ませています。どのように選択してもその一つ一つが正しかったかどうかはきっと事態が収まった頃にしかわからないのかもしれません。とにかく今は子どもたち、そしてそのご家族、職員、地域の安全を第一に物事を考えていきたいと思っております。

この影響で予定通りにできなくなったことや、うまくいかなかったこともたくさんあります。保護者の方も楽しみにされていた行事などもあったかと思えます。ただ、こんな時期だからこそ職員も感染予防に配慮しつつ、今だからこそできることを考えながら、手作りおもちゃを作ったり、園内の清掃をしたり、全園児が笑顔で登園する日を心待ちにしながら業務を行っています。

多くの情報が飛び交うため、それらを耳にするたびに不安や緊張などによるストレスを知らず知らずのうちに感じてしまいます。外の景色を眺めながら散歩をして体を伸ばしたりほぐしたりするだけでもストレスは低減できるようです。スーパーではミシンや掃除グッズがいつも以上に売れたり、料理をする男性も増えていたりしています。この状況が収まったときにはどんなことをしようかな?と家族で話をするのも今だからこそできることなのかもしれません。「今だからこそ」の積み重ねが豊かな生活を少しずつ取り戻していくことにきっと繋がっていくはずで